

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）

研究課題「子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究」

分担研究「性的虐待を受けた子どもの中長期ケアの実態とそのあり方に関する研究」

## 性的虐待を受けた子どもへのケア・ガイドライン【試案】に関する調査 のご協力について（お願い）

児童養護施設 施設長 様

情緒障害児短期治療施設 施設長 様

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私どもが平成 20 年度から取り組んできています、厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）の「子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）」の分担研究「性的虐待を受けた子どもの中長期ケアの実態とそのあり方に関する研究（分担研究者 岡本正子）」

も本年が最終年度になりました。昨年 21 年度に実施いたしましたアンケート調査をはじめ、いろいろとご協力いただき、感謝申し上げます。

昨年度は、ご協力いただいた調査を踏まえ「性的虐待を受けた子どもへのケア・ガイドライン（試案）」を作成しました。またその成果を研究報告書の中に収録（p353～p444）し、本年 6 月に皆様のお手元へお届けしたところです。最終年度の今年度は、昨年度に提案しました「性的虐待を受けた子どもへのケア・ガイドライン（試案）」について、施設における取り組み状況を把握するとともに、各項目の施設現場への適合性について調査し、皆様のご意見を踏まえたケア・ガイドラインの完成をめざしています。

本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご多忙中恐れいりますが、ご回答いただきました調査表は、同封の返信用封筒にて （8 月 31 日） までにご返送いただきますよう、お願いいたします。

なお情報の取り扱いには細心の注意を払い、研究報告にあたっては統計処理を行ったうえで報告いたします。また、本調査への回答をもって調査への同意を得たものとさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

（追加資料としてケアガイドラインチェックリスト図を同封いたします。ご回答の折にご利用下さい。）

分担研究者 岡本正子（大阪教育大学）

八木修司（関西福祉大学）

### 調査に関する問い合わせ先

大阪教育大学教育学部

岡本正子 : TEL : 072-978-3409（ダイヤルイン）

E-mail : mokamoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

関西福祉大学社会福祉学部

八木修司 : TEL : 0791-46-2808（ダイヤルイン）

E-mail : yagi@kusw.ac.jp

問1 あなたの所属している施設の種別は次のうち、どちらですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 児童福祉施設                      2. 情緒障害児短期治療施設

■■■STEP1「子どもが安全・安心して生活できる生活環境(居場所)をつくる」(15項目)についておたずねします■■■■■

問2 STEP1の項目において貴施設ですでに取り組みが**実施されているもの**、施設で**実施するのに困難であると思われるものすべてにそれぞれ**をつけてください。

No.	項目	実施している	困難である
1	施設の建物構造の課題や問題点を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	施設内で職員の目が届きにくい場所を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	緊急時に使用する部屋がある(静養室・個室など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	年齢に応じた個のスペースを意識した空間づくりの工夫をしている(個人スペースと公スペースの区別、また持ち物の整理・管理など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	子どもの問題が起きやすい時間帯を把握し、それに合わせた勤務体制を工夫している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	入所前に職員全員で児童の状況を確認している(入所前カンファレンス)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	入所時に「子どもの権利」について説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	入所時に施設生活のルールについて説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	日常的な児童の状況について引継ぎができていない(記録と引継ぎ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	子どもと職員間に信頼関係ができていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	職員同士で相談できる体制がある(職員同士で性の課題について、オープンに話せる雰囲気がある)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	職員の役割分担がはっきりしており、SVを受ける体制がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	幼稚園や学校の先生との連携がとれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	児童相談所との連携がとれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	問題が生じた時に相談できる外部機関がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■■■STEP2「子どもの再被害や問題行動を予防し、健全な発達を支援する。組織としての対応体制の確立と家族を支援する」(10項目)についておたずねします■■■■■

問3 STEP2の項目において貴施設ですでに取り組みが**実施されているもの**、施設で**実施するのに困難であると思われるものすべてにそれぞれ**をつけてください。

No.	項目	実施している	困難である
1	一人ひとりの子どものアセスメントができている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	子ども集団の状況について定期的のアセスメントする機会をもっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	子どもの支援計画を作成する人が決まっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	子どもの問題行動を予防する取り組みを行っている(CAPプログラム等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	暴力防止に対する取り組みを行っている(セカンドステッププログラム等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	子ども全員に対して性教育をおこなっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	性被害を受けた子どもへの性教育を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	施設内で性的加害・被害が起こったときの対応マニュアルを作っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	児童相談所との連携による外泊や面会のマネジメントができている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■■■STEP3「子どもや家族の個別課題を理解し、施設内で組織的アプローチや外部の関係機関と援助連携を図る」(6項目)についておたずねします■■■■■

問4 STEP3の項目において貴施設ですでに取り組みが**実施されているもの**、施設で**実施するのに困難であると思われるものすべてにそれぞれ**をつけてください。

No.	項目	実施している	困難である
1	性被害を受け、治療を受けている子どもを支える体制がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	性被害を受け、専門的治療が必要な子どもへの心理的治療が実施できる体制がある(施設内心理士による実施もしくは外部機関との連携による実施)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	性暴力防止プログラムがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	家族への支援プログラムがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	外部のスーパーバイザーを招いてケースカンファレンスを実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	子どもが精神的に不安定になったときに受診できる医療機関をもっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■■■全体（「STEP 1, 2, 3」）についておたずねします■■■■■

現在、研究班では、より見やすく使い勝手のよいガイドラインにするために、鋭意校正に取り組んでいます（フローチャートや図を有効に使う方向で）が、その他内容についてのご提案・ご意見を戴きたく考えているところです。

問5 全体を通して、「STEP 1, 2, 3」という考え方は、施設ケアを行う際に有用と思いますか。

あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. はい      2. いいえ      3. どちらともいえない

問5-1 「1. はい」あるいは「2. いいえ」と回答された理由について

( )

問6 各STEPについて、追加する項目があればご提案下さい。

STEP 1 ( )

STEP 2 ( )

STEP 3 ( )

問7 各STEPについて、修正あるいは削除するほうがよい項目があればご提案下さい。

STEP 1 ( )

STEP 2 ( )

STEP 3 ( )

問8 その他、ガイドラインについて、お気づきになられた点をご記入下さい。

--

■■■ お願い ■■■■■

ご回答いただきました内容について、後日、研究班が連絡をとらせていただきたい場合があるかと思しますので、差し支えなければ下記の事項をご記入いただきますよう、お願い申し上げます。

施設名		担当者	
住所	〒		
E-mail			
電話		F A X	

ご協力ありがとうございました。

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

#### 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
山本恒雄	子ども虐待とチーム援助	児童心理 臨時増刊	927	99-104	2011
山本恒雄	日本における子どもの性的虐待についての現状と課題	子ども虐待の予防とケアのすべて 追録	15	261-266	2011
岡本正子他	学校における性的虐待発見状況と性的虐待の予防・対応に関する教員の意識—大阪府内の中学校・高等学校の養護教諭、家庭科教諭、保健体育科教諭を中心とした調査を通して—	大阪教育大学紀要、第 IV 部門	59(2)	93-114	2011
岡本正子	子育てで不安が子ども虐待を引き起こす?—児童精神科医師の立場から	教育実践研究	5	113-126	2011
山本恒雄他	医療ネグレクト	小児科	51(4)	477-485	2010
山本恒雄	児童福祉の現場における医療ネグレクトの実態と課題	子どもの虐待とネグレクト	12(3)	345-353	2010
山本恒雄	性的虐待対応に必要な知識と留意点・穏やかに、しかし確実に、子どもの安全を確保する責任が私たちにある	育ちと臨床	8	106-113	2010
山本恒雄	日本における性的虐待の実態と対応の現状	子どもの虹情報研修センター紀要	8	56-78	2010
山本恒雄	児童相談所における保護者援助のあり方に関する実証的研究:保護者援助手法の効果、妥当性、評価、適応に関する実証的研究	日本子ども家庭総合研究所紀要	46	177-230	2010
山本恒雄 新納拓爾	DV 問題に関連する児童虐待相談およびその通告に関する調査研究:警察、婦人相談所と児童相談所の連携における課題について	日本子ども家庭総合研究所紀要	46	265-288	2010
山田由佳子 岡本正子他	乳幼児の子育て環境調査—吹田市の場合—	生活文化研究	49	41-72	2010

その他

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
柳澤正義	子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	1-13	2010
玉井邦夫	学校現場での性的虐待事例への遭遇状況と教員の性的虐待をめぐる認識に関する研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	15-60	2010
山本恒雄他	児童相談所における性的虐待対応ガイドラインの策定に関する研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	61-98	2010
山本恒雄他	児童相談所における性的虐待対応ガイドライン 2009 年度試行版（素案）	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	99-220	2010
庄司順一 山本恒雄他	性的虐待の被害確認のための面接のあり方に関する研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	221-247	2010
岡本正子 八木修司 山本恒雄他	性的虐待を受けた子どもの中長期的ケアの実態とそのあり方に関する研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	249-351	2010

岡本正子他	性的虐待を受けた子どもへの中長期的ケアの実態とそのあり方に関する研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	249-351	2010
岡本正子 八木修司 山本恒雄他	性的虐待を受けた子どもへのケア・ガイドライン【試案】	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））子どもへの性的虐待の予防・対応・ケアに関する研究（研究代表者 柳澤正義）	平成 21 年度 分担研究報告書	353-444	2010
岡本正子他	性的虐待を受けた子どもと家族への援助枠組みの研究	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業）子ども家庭福祉分野における家族支援のあり方に関する総合的研究（研究代表者 高橋重宏）	平成 21 年度 分担研究報告書	123-132	2010
山本恒雄	児童相談所と対峙する保護者への対応ガイドライン	一時保護におけるにおける関係性と保護者への対応	平成 21 年度 児童関連サービス調査研究等事業報告書	9-18	2010
山本恒雄	児童相談所の措置をめぐる紛争事例の研究	児童相談所の措置をめぐる紛争事例の研究	平成 21 年度 児童関連サービス調査研究等事業報告書		2010
山本恒雄	児童相談所と対峙する保護者への対応ガイドライン	一時保護におけるにおける関係性と保護者への対応	平成 21 年度 児童関連サービス調査研究等事業報告書	9-18	2010
山本恒雄	児童相談所の措置をめぐる紛争事例の研究	児童相談所の措置をめぐる紛争事例の研究	平成 21 年度 児童関連サービス調査研究等事業報告書		2010



山本恒雄	医療ネグレクト対応手引き	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業）医療ネグレクトにおける医療・福祉・司法が連携した対応のあり方に関する研究（研究代表者 宮本信也）	平成 21 年度 分担研究報告書	49-94	2010
山本恒雄	医療ネグレクト相談についての 児童相談所における対応について	厚生労働科学研究（政策科学総合研究事業）医療ネグレクトにおける医療・福祉・司法が連携した対応のあり方に関する研究（研究代表者 宮本信也）	平成 21 年度 分担研究報告書	31-48	2010

